

日医ニュース

2025. 10. 20 No. 1537

発行所



日本医師会
Japan Medical Association

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
電話 03-3946-2121(代)
FAX 03-3946-6295
E-mail wwwinfo@po.med.or.jp
https://www.med.or.jp/

毎月2回 5日・20日発行 定価 2,400円/年(郵税共)



トピックス

- 第160回日本医師会臨時代議員会 … 2面
- 日医かかりつけ医機能研修制度 令和7年度応用研修会(第1回) … 3面
- 都道府県医師会だより … 5面

松本会長

次期診療報酬改定に向け、 改定2年目における物価・賃金の上昇に 適切に対応するための具体案を提示

冒頭、松本会長は、9月17日に公表した「令和7年 診療所の緊急経営調査」の結果に改めて言及した。(1)診療所の直近の経営状況は減収減益で、前年度から大幅に悪化している、(2)診療科別の利益率は、全ての診療科で悪化している、(3)地域別の利益率も、医業利益率、経常利益率共に大都市から中都市、小都市、町村まで、いずれの地域においても低下している、(4)決算期が直近になるほど利益率が低く、経営環境の悪化が顕著に進んでいる、(5)近いうちに廃

業を考える診療所は約14%にも及んでいる——状況を説明。また、「診療所だけでなく病院についても、特に減益が激しい状況であり、地域医療支援病院のような大きな病院ですら、診療休止に至る例が出てきている」と危機感を示した。

医療機関を危機的な経営状況に追い込む事態を招いているのは、「令和6年度改定において、令和7年度の対応が不十分であったことが大きな要因の一つであったと考えられる」と指摘。一定の考慮がされてきたものの、医療経済実態調査(以下、

実調)などのデータを基に議論できる1年目と異なり、2年目は推計値で対応しなければならぬとし、「特に今般のように物価・賃金等が急激に高騰している中では、結果として全くとって不十分な対応となっている」と訴えた。その上で、令和8年度診療報酬改定の前に期中改定も必要とされている深刻な状況であり、補助金と診療報酬の両面からの早急な対応を求める姿勢を改めて示した。

次期診療報酬改定については、「今後も物価・賃金等が上昇し続けていることが予想される中、次期改定では改定2年目についても大胆な対応を求める。まずは次の改定までの2年間をしっかりと想定し、対応できる改定を行うことが大切だ」と表明。物価・賃金が大きく上昇した場合に、それに応じて適切に対応する新たな仕組みの導入の検討を明確化する必要性などを強調した。

また、「高齢化・医療の高度化への対応については別途必要なことは当然である」と主張した。

くことが予想される中、次期改定では改定2年目についても大胆な対応を求める。まずは次の改定までの2年間をしっかりと想定し、対応できる改定を行うことが大切だ」と主張。今行われた第25回実調に

関しては、「令和5、6年度について回答するものであり、改定年の令和8年から2年目の令和9年からは3年からは3年のタイムラグが生じる」と指摘した上で、「昨今の急激なインフレ下では、議論の進め方や対応を柔軟に変えていく必要が出てきているのではないか」と投げ掛けた。

更に、財務省はインフレ下であっても先行きが不確定であることから、改定への対応は極めて抑えたい形にしようとするため、特に改定2年目には昨今のインフレ状況で大きな乖離が生じる可能性が高いとし、「この乖離が今年実際に生じており、大変大きな問題となっている」と述べた。



松本吉郎会長は10月1日の定例記者会見で、最近の医療機関の窮状を踏まえ、令和8年度診療報酬改定について、「今後も物価・賃金等が上昇し続けていくことが予想される中、次期改定では改定2年目についても大胆な対応を求める。まずは次の改定までの2年間をしっかりと想定し、対応できる改定を行うことが大切だ」と表明。物価・賃金が大きく上昇した場合に、それに応じて適切に対応する新たな仕組みの導入の検討を明確化する必要性などを強調した。

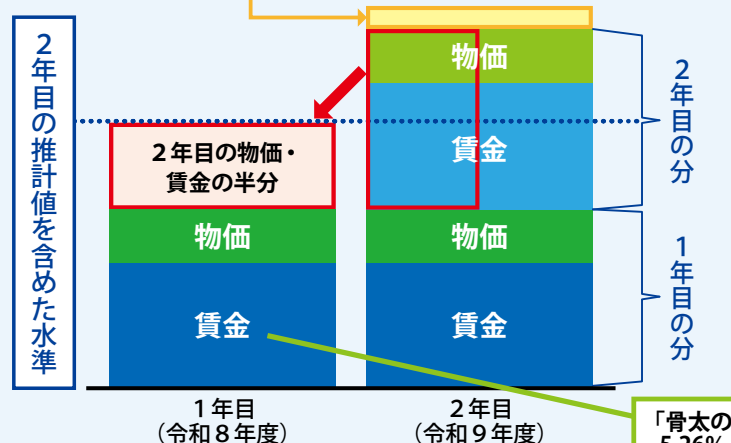
また、「高齢化・医療の高度化への対応については別途必要なことは当然である」と主張した。

え、物価・賃金が大きく上昇した場合に、それに応じて適切に対応する新たな仕組みの導入の検討を明確化しておく必要があるとし、二つの対応案を提示(図)。

具体的には、①2年目は実調の調査から3年ずれることから、物価・賃金等が大幅に上昇した場合には、それに応じて適切に対応する新たな仕組みの導入の検討を明確化する(2年目の分を2年目に確実に上乗せする改定)

①次の改定までの2年間をしっかりと考慮した改定水準

2年目は実調の調査から3年ずれることから、物価・賃金が大きく上昇した場合には、それに応じて適切に対応する新たな仕組みの導入の検討を明確化



「骨太の方針2025」では、5.26%として目安の数字が示されている

②2年目の分を2年目に確実に上乗せする改定

2年目の分は物価・賃金それぞれ基本診療料を中心に機動的に上乗せする新たな仕組みを導入し明確化

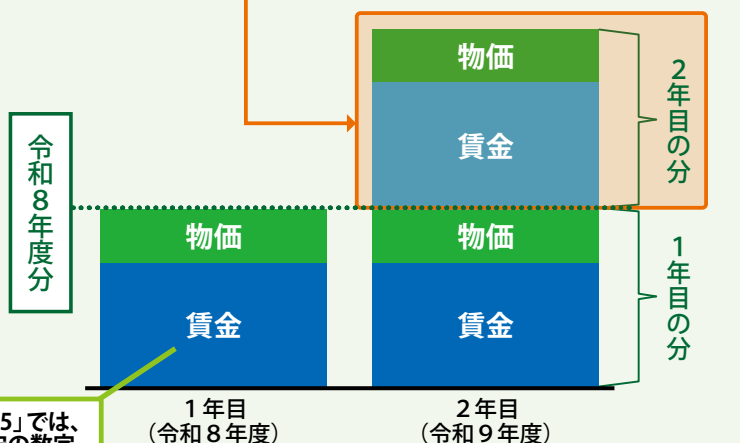


図 次期診療報酬改定における賃金・物価への対応(高齢化・医療の高度化への対応は別途必要)

第160回日本医師会臨時代議員会

副会長に福田熊本県医会長を選任・選定、
理事に蓮澤福岡県医会長を選任

第160回日本医師会臨時代議員会が10月4日、定数380名の代議員のうち366名の出席の下、WEB形式で開催され、副会長に福田熊本県医会長を選任・選定した他、理事に蓮澤福岡県医会長を選任した。両名共に、任期は本年10月4日から令和7

年度に関する定例代議員会終結の時までとなる。今回の臨時代議員会では、釜淵敏副会長並びに福田副理事より、10月3日付での辞任届が提出されたことを受けて、開催されたものである。辞任届が提出された後、日本医師会では9月1日に「日本医師会副会長の補欠選任・選定及び理事の選任に関する公示」を行い、立候補者を公募。9月13日午後5時をもって締め切り、副会長（定数1）には福田熊本県医会長から、理事（定数1）には蓮澤福岡県医会長から立候補届が出されていた。

将来の進路選択に迷う
医学生などに向けた動画を制作

日本医師会はこのほど、動画「進路に悩むあなたへ 先輩医師に聞きました 医学生のためのキャリアインタビュー」を制作し、9月19日に公式YouTubeチャンネルで公開しました。

本動画は、将来、医師としてどのような道に進めばよいのか、迷っている医学生の皆さんに、先輩医師達がなぜ今の道を選んだのか、その理由などを語ってもらうことで、少しでも進路選択の参考にして頂ければとの思いから制作したもので、第1弾となる今回の動画には松本吉郎日本医師会会長が登場しています。

動画の中で松本会長は、

- ・ どうして今の診療科を選んだのか
- ・ 形成外科のこういったところに魅力を感じたのか
- ・ 皮膚科も学び始めたきっかけ
- ・ 開業しようと思ったのはいつ頃か
- ・ 医師会活動を始めたのはいつで、どのようなことがきっかけだったのか
- ・ 会長としてどんな仕事をしているのか
- ・ 診療はもうしていないのか
- ・ 医師として大切にしていること
- ・ 医学生や若手医師にとって医師会はどんな存在と思うか

などの質問に回答。最後には医学生に向けたメッセージとして、「医師になろうとした気持ちを忘れないで欲しい」と呼び掛けています。

動画のタイトルは「医学生のための」となっていますが、研修医の皆さんや今後医師を目指す方達にとっても参考となる動画となっていますので、ぜひ、多くの方々にご覧頂ければ幸いです。

なお、日本医師会では今回の動画をシリーズ化し、今後もさまざまな先輩医師が登場して頂く予定としています。



動画は
こちら

釜淵副会長は、釜淵敏副会長並びに福田副理事より、10月3日付での辞任届が提出されたことを受けて、開催されたものである。

政の場において、議員活動に専念してもらうた

め、その後任となる副会長を選任・選定してもらったことになった。(2) 副会長の補選実施に当たり、福田理事から辞任届が提出されたことから、その後任を併せて選任してもらったことになった。

長候補者たる理事として選任されるとともに副会長として選定され、蓮澤福岡県医会長が理事として選任されることになった。

また、福田副会長は釜淵副会長長の職務をそのまますぎ継ぐこととなり、具体的には、医療政策、医療保険、税制、医療機関経営、勤務医、病院、会員福祉、医師国保、在宅医療、図書館、医療関係職種、小児在宅ケア、健康を担当することになった。

策、医療保険、税制、医療機関経営、勤務医、病院、会員福祉、医師国保、在宅医療、図書館、医療関係職種、小児在宅ケア、健康を担当することになった。

た。



認がなされ、松本吉郎会長からあいさつが行われた。

松本会長は、先の参議院議員選挙において釜淵副会長を国政に送り出すことができたことに感謝の意を表明。その上で、(1)

「日本医師会副会長補欠選任・選定の件」「第2号議案 日本医師会理事選任の件」が一括上程され、松本会長が提案理由を説明。両案はいずれも過半数を超える代議員の賛成を得て承認され、福田熊本県医会長が副会

長候補者たる理事として選任されるとともに副会長として選定され、蓮澤福岡県医会長が理事として選任されることになった。

また、福田副会長は釜淵副会長長の職務をそのまますぎ継ぐこととなり、具体的には、医療政策、医療保険、税制、医療機関経営、勤務医、病院、会員福祉、医師国保、在宅医療、図書館、医療関係職種、小児在宅ケア、健康を担当することになった。

た。

副会長

福田 稔 79 熊本

熊本県出身、久留米大卒、熊本市医副会長・会長を経て、平成22年より熊本県医会長。平成24年より1期、平成28年より1期、日医理事を務めた後、令和6年より三度目の日医理事を務めていた。産婦人科

理事

蓮澤 浩明 77 福岡

福岡県出身、久留米大卒、大牟田医会長、福岡県医副会長を経て、令和4年より福岡県医会長。精神神経科

※年齢は2025年10月4日現在

族や隣人の協力などのインフォーマルな支援の利
用も視野に入れ、介入を
実施するという視点も求
められるとした。

最後に角田徹副会長が
閉会あいさつを行い、研
修会は終了した。

なお、日本医師会では、
本研修会と同様の内容の
研修会を10月19日、11月
3日にもWEBにより開
催する予定としている。

都道府県医師会だより



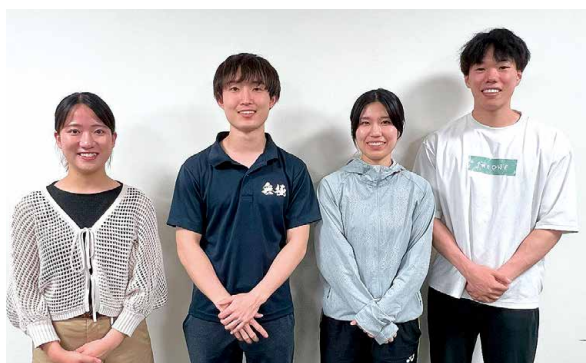
宮崎県医師会 広報委員会における医学生委員の活躍

宮崎県医師会常任理事 荒木早苗



宮崎県医師会広報委員 名(男女)と5年生2名
会では、平成20年より宮
崎大学医学部の学生が委
員として参画しています。
今や学生委員は広報委員
会に欠かせない存在とし
て活躍しており、学生委
員、医師委員、そして県
医師会の三者それぞれの
影響が現れているため、
ご紹介させて頂きます。

現在、宮崎県医師会広
報委員は、勤務医4名、
開業医4名、医学生4名
の計12名で構成されてい
ます。医学生は宮崎大学
医学部医学科の4年生2
名(男女)と5年生2名



学生広報委員

以前は、
医師会と医
生が直接
的な接点を
持つ機会が
ありません
でした。し
かし、
新臨床研修
制度の開始
や大学入試
の地域枠推
薦など、い

くつかの大きな変革期を
迎え、医師不足が深刻な
問題となっていた時期
に、医学生にも医師会の
活動を知ってもらうこと
や医学生から直接意見を
聞くことの重要性を感
じ、宮崎大学医学部の学
生に広報委員参加の声を
かけたのが始まりです。
当初は学年を問わず、
1年生から6年生までの
医学生に就任してもらっ
た時期もありましたが、
試行錯誤の結果、現在で
はある程度臨床知識を持
ち、国家試験勉強にも支
障が出ていない時期であ
る4年生2名、5年生2名
の2年任期という体制で
落ち着きました。年度末
には学生委員が次の学年
の学生に委員会の仕事内
容を説明し、候補者を推
薦してくれるため、学生
卒業委員の人選に困るこ
とはありません。

医学生委員参加に伴
い、会誌に学生が企画か
ら執筆までを行う『宮大
医学部学生のページ』を
創設しました。ここでは、
大学祭、部活動紹介、国
試対策委員会の活動、地
域医療実習や研究室配属
の報告など、現在の大学
生活を掲載しています。
読者である医師会が
昔を懐かしむことができ
るテーマから、年配の先

生方にはなじみの薄いO
SCEやCBTといった
共用試験についての解説
まで、毎号豊富な話題を
提供してくれています。
広報委員会では、会誌
の編集の他、毎年、報道
記者や弁護士など他分野
の方々との勉強会『宮崎
の医療を考える会』を開
催しています。

数年前に医学部地域枠
をテーマに開催した際に
は、地域枠で入学した学
生広報委員から、高校生
が制度の理解が十分でな
いまま受験することによ
る問題や、入学後に抱い
た将来への不安など、当
事者の立場からの発言が
ありました。これに関心
を持った記者から後日改
めて取材を受け、新たな
視点での新聞記事掲載に
つながりました。

今年度の勉強会では、
日本医師会の黒瀬蔵常任
理事に宮崎にお越し頂き
ました。日本医師会の活
動紹介や診療報酬改定関
連の講演後、開業医・勤
務医・医学生・役員に分
かれたテーブルをそれぞれ
感じています。

最後に、現学生広報委
員の感想を紹介します。
(医学科5年・女性)
普段は医師の先生方と
気楽に話せる場というの
はほとんどありません。
委員会では先生方と普段
の生活について話す機会
があったり、医師の仕事
の大変さを直接聞けたり
と、校正以外でも先生方
とつながれるのが良いと
感じています。医師の

先生方が日頃どのような
ことを考えているのかを
知ることが、政治などへ
の関心も広がりました。
今後自分の見識を広
げ、更にその学びを周囲
に共有していきたいです。
(医学科4年・女性)
大学に通っていて先生
方から耳にするのは大学
病院の症例の話や講義内
の医学知識に関するお話
が多いので、開業されて
いる先生の病院経営に関
するお話や、政治情勢か
ら医師会が受ける影響に
ついてなどのお話が新鮮
です。

今まで考えたこともな
かったような話題につ
いて関心を持つきっかけ
になり、とても勉強にな
っています。

プレゼント企画 第1弾

映画「てっぺんの向こうにあなたがいる」の鑑賞チケットを 抽選で100組200名の方にプレゼント

日本医師会ではこのほど、木下グル
ープ様のご厚意により、映画「てっ
ぺんの向こうにあなたがいる」の鑑賞チ
ケットを100組200名の方にプレゼン
トすることになりました。

自分の全てをかけて“てっぺん”に
挑み続け、女性で初めてエベレストの
登頂を成し遂げた登山家の田部井淳子
さんとその家族の物語を描いた作品と
なっており、主演は俳優の吉永小百合
さんが務めています。

映画の詳細や上映館などは公式ホー
ムページをご覧ください。

応募希望の方は下記に従って、ぜひ、ご応募願
います。

◆応募方法：

- ①右記の二次元コードを読み込み、日本医師会
LINE公式アカウントを友だち登録（既に登録さ
れている方はトーク画面に飛びます）
 - ②応募フォームへの回答
 - ③応募完了！
- ※応募は一人1回に限らせて頂きます（複数回の応募は無効と
なります）
※当選者のみ、LINEで通知させて頂きますのでご承知置き下
さい。

◆応募締切：2025年10月31日（金）午後11時45分まで

◆問い合わせ先：日本医師会広報課 ☎ kouhou@po.med.or.jp



公式ホーム
ページ



申し込みは
こちらから

「日本医師会ペイシエントハラスメント・ネット上の悪質な書き込み相談窓口 (日医ペイハラ・ネット相談窓口)」を運用中!!

日本医師会では、「日本医師会ペイシエントハラスメント・ネット上の悪質な書き込み相談窓口(日医ペイハラ・ネット相談窓口)」の運用を
行っています。

「日医ペイハラ・ネット相談窓口」は、昨今増加しているインターネット上の悪質な書き込みを含むペイシエントハラスメント全般に関する
会員の先生方などからのご相談に対応するために開設したものです。お困りの際はぜひ、ご活用下さい。

- 利用対象者 日本医師会会員及び会員が開業・管理している医療機関または介護サービス施設・事業所の従事者
- 相談受付方法 WEBフォームまたは電話（電話受付時間：平日の午前9時～午後6時）
- 担 当 課 日本医師会情報システム課、医事法・医療安全課

※なお、WEBフォーム及び電話番号は日本医師会ホームページ内のメンバーズルームに掲載して
いるため、日本医師会会員用アカウント（ユーザー名、パスワード）が必要となります。

https://www.med.or.jp/doctor/sonota/sonota_etc/011988.html



JMA
JOURNAL × 日本医師会医学賞

英文誌『JMA Journal』は、日本医師会が日本医学会との協力で発行しているオープンアクセスの総合医学雑誌です。毎年、日本医師会では医学上重要な業績をあげた会員に「日本医師会医学賞」、医学上将来性に富む研究を行っている会員に「医学研究奨励賞」を授与しております。『JMA Journal』では受賞された先生方に、これらの受賞研究に関する論文をご投稿頂いております。今回は日本医師会医学賞を受賞し、『JMA Journal』に掲載された論文5篇をご紹介します。



Journal
Impact Factor
1.8

**Journal
Impact Factor
1.8**

JMA Journal掲載論文 日本医師会医学賞（受賞者「受賞研究」受賞年度）

Sobue T. Contribution to Establishing a Foundation for Promoting Cancer Control in Japan by Providing Precise Cancer Information and Establishing a Research Infrastructure - Secondary Publication. JMA J. 2025;8(2):317-322.

〔祖父江友孝「がんの精確な情報発信と研究体制基盤整備によるわが国のがん対策推進の礎となる体制づくりへの貢献」2024年度〕

Ishioka C. Development of the World's First In Vitro Cancer Epigenome Diagnostic through Biomarker Research for Personalized Cancer Treatment of RAS-wild-type Colorectal Cancer - Secondary Publication. JMA J. 2025;8(3):703-707.

〔石岡千加史「個別化がん治療に必要なバイオマーカー研究による世界初がんエピゲノム体外診断薬の開発」2024年度〕

Kimura T. Analysis of the Molecular Mechanism of Parturition and the Establishment of a Safe Obstetrical Care System - Secondary Publication. JMA J. 2025;8(3):699-702.

〔木村正「分娩に関する分子機構解析から安全な医療体制確立までの研究」
2024年度〕

Tanigawa T. Promotion of Preventive Sleep Research from the Perspective of Health and Public Safety in Japan - Secondary Publication. JMA J. 2025;8(3):673-678.

〔谷川武「国民の健康・安全に資する睡眠面からの予防医学研究の推進」2023年度〕

Ueki K. Rethinking Diabetes from the Perspective of Diverse Insulin Actions in Various Organs. *JMA J.* 2024;7(4):489-495.

〔植木浩二郎「2型糖尿病の分子病態解明とそれに基づく治療法の開発」2023年度〕

『JMA Journal』では、医学・医療全領域に関する論文を始め、医療政策やオピニオンなど、臨床以外の投稿も幅広く受け付けています。

当面の間、論文の投稿料、掲載料、オープンアクセス料等は一切無料となっております。皆様からのご投稿をお待ちしております。

最新情報は [こちら ▶ https://www.jmaj.jp](https://www.jmaj.jp)

論文投稿はこちら ▶ <https://mc.manuscriptcentral.com/jmaj>

問い合わせ先: JMA Journal Support Office ▶ admin@jmaj.jp

日本医師会国際課 JMA ジャーナル編集室 ▶ jmaintl@po.med.or.jp



書籍紹介

認知症への先入観をほどく
本人・ケアラー・医療者が前向きになれる言葉の提案

認知症のある人の行動や心の変化は「BPSD」と呼ばれ、その代表として「徘徊」や「物盗られ妄想」がある。

一方、例えば目的なく歩き回っている「徘徊」

そのため、本書では海外の手引きも参考に、認知症にまつわる言葉について検討し、前向きな言葉への変換が試みられている。例えば、「徘徊」とせず、「○○の理由で歩き回

本書は、2012年に、
中村耕三氏（東京大学名
誉教授）によって編集さ
れロングセラーとなった

の診療に携わる人々に分
かりやすく解説し提供す
ることを目的として企画
された。

全体は、「Ⅰ. 総論的
ガイドライン」「Ⅱ. 病
態・疾患別のガイドライ

いながらひたむきに診療を続け、かかりつけ医として地域に根差した医療を提供してきた一人の中国国医師の軌跡を描いた書籍である。

本書はステロイドやメ
トトレキサートなど、以
前から使用されてきた薬
剤に加えて、生物学的製
剤、JAK阻害薬、そし
て今後登場するであろう

Patient-based
medicine を行う上へ、
「判断材料の基準」とな
る本書は、日常診療のパ
ートナーとして、頼りに
なる一冊と言える。
定価 25300円(税
込)
発行 総合医学社

遠く中国から海を渡り、日本の医療に貢献するため奔走してきた一人の医師による40年の記録をまとめた本書は、日本の地域医療においてかかわれていた「りつけ医」に求められていることを改めて考える上でも参考となる一冊となる。

パートで構成されている。
薬劑選択に迷った症例
や初学者から多く寄せら
れる質問も盛り込まれる
など、リウマチ・膠原病
に対する理解が深まる一
冊と言える。

定価 5280円(税込)
発行 南江堂

「ドライン」からなり、内容としては、220を超える項目について、①ガイドライン・指針の現況②定義・頻度③治療に必要な検査と診断④治療の実際（保存療法、手術療法、後療法、処方例など）⑤専門医に紹介するタイミング⑥専門医からのワンポイントアドバイス⑦文献——で解説されている。

にある大学の医学部の留
学生として来日。研修医
として地域医療に携わっ
たことにより、日本に残
って目の前の患者を支え
続けたいとの思いを強く
し、祖国に戻らず、20
01年に自身のクリニック
を開業。以来、24時間
365日、患者に頼られ
るかかりつけ医として地
域医療に身を尽くしてき
た。

チ・抗原病の治療薬について、代表的な臨床試験の結果、作用機序、副作用などの基本情報、使用上のコツなどをまとめた実践書である。

その内容は、「リウマチ・膠原病の基礎知識」「リウマチ・膠原病治療薬の基本情報と使い方のコツ」「症例で学ぶリウマチ・膠原病」「いまさら聞けない疑問集」の四つの

ン」あるいはこれに代わる「現時点でのコンセンサス・概念」を、運動器の診療に携わる人々に分かりやすく解説し提供することを目的として企画された。

全体は、「Ⅰ. 総論的ガイドライン」「Ⅱ. 病態・疾患別のガイドライン」「Ⅲ. 部位別のガイ

本書は、日本の医療を学ぶために祖国である中国を離れ、患者と向き合いながらひたむきに診療を続け、かかりつけ医として地域に根差し医療を提供してきた一人の中国人医師の軌跡を描いた書籍である。

中国上海に生まれた著者は、1984年に九州

本書はステロイドやメ
トトレキサートなど、以
前から使用されてきた薬
剤に加えて、生物学的製
剤、JAK阻害薬、そし
て今後登場するであろう
新規薬剤に至るリウマチ

者だからこそ無意識の
ステイグマについて、気
付きを促し、より良い認
知症診療とは何かを考え
る一冊となっている。

定価 2420円(税込)

発行 新興医学出版社

.....

書籍を、竹下克志氏(自
治医科大学教授)によっ
て、改訂したものである。

本書は、「ガイドライ

っている。

定価 1760円(税込)

発行 幻冬舎

リウマチ・膠原病
治療薬処方ガイド

薬剤の基本からよくある
疑問をこの1冊で！

堀内孝彦
有信洋二郎
木本泰孝
編

案内



シンポジウム

「社会保障のアップデート ～豊かな未来をデザインする～」

日本医師会では、私達の

の安定した暮らしを支え

てくれるセーフティネッ

トである「社会保障」の

これから皆さんと一緒

に考えることを目的とし

て、シンポジウム「社会

保障のアップデート～豊

かな未来をデザインする

～」を開催することにな

りました。ぜひ、ご参加

願います。

なお、後日には、シン

ポジウムの模様を収録し

た動画を日本医師会公式

YouTubeチャンネルに、

採録を朝日新聞全国版朝

刊に、それぞれ掲載する

予定となっています。

◆主催：日本医師会

社会保障」(松原由美早稲田大学人間科学学術院教授)

4. トークセッション「社会

保障の重要性ーみんな

で支える、みんなの未来

司会：黒瀬慶常任理事

シンポジスト：清家社

長、松原教授、山口育子

認定NPO法人ささえあ

い医療人権センターCO

ML理事長、ラブリ(フ

アッションモデル・タレ

ント)

◆参加人数：450名

保障のアップデート～豊

かな未来をデザインする

～」を開催することにな

りました。ぜひ、ご参加

願います。

なお、後日には、シン

ポジウムの模様を収録し

た動画を日本医師会公式

YouTubeチャンネルに、

採録を朝日新聞全国版朝

刊に、それぞれ掲載する

予定となっています。

◆主催：日本医師会

令和7年度家族計画・ 母体保護法指導者講習会

◆主催：日本医師会、こ

ども家庭庁

◆日時：12月6日(土)

午後1時～3時40分

◆会場：日本医師会館大

講堂(集合開催)

※オンデマンド配信はい

たしません。

◆参加費：無料

◆申込方法：日本医師会

ホームページより必要事

項を入力して申し込み願

います。

ジウム「社会保障のアッ
プデート」事務局
〒03-6555-7620
お問い合わせ先：シンポ
受付時間：午前10時～午

後5時(土・日・祝日を
除く)
jima2025info-event-
jinkyo.jp

◆対象者：医療機関の管

理者、実務者もしくはこ

れに準ずる方

◆定員：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

令和7年度医療事故調査制度 「管理者・実務者セミナー」

◆主催：日本医師会(令

和7年度日本医療安全調

査機構委託事業)

◆開催形式及び日程等：

(1) 会場での受講

日時：12月7日(日) 午

後0時30分～6時

場所：日本医師会館小講

堂

(2) e-learningによる

受講(講義動画を受講者

専用サイトにてオンデマ

ンド配信)

受講期間：12月中旬～令

和8年3月25日(水)を

予定

※どちらか一つを選択し

受講願います。

◆対象者：医療機関の管
理者、実務者もしくはこ
れに準ずる方

◆定員：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

受講：1000名程度

全対策委員会委員)
総合質疑応答
◆受講料：1500円
(税込)

※(1) 会場での受講、

(2) e-learningによる

受講、共に同額となりま

す。

◆受講証明：全ての講義

を受講完了した受講者に

対し、「受講証明書」を

発行します。

◆申込方法：日本医師会

(直)

◆主催：日本地域包括ケ

ア学会

◆共催：日本医師会

◆テーマ：在宅療養から

見た地域包括ケアシステ

ムの現状と課題

◆日時：12月21日(日)

午後1時30分～5時30分

◆開催方法：会場(日本

医師会館小講堂(定員：

50名)とZOOMオン

ライン(定員：1000

名)のハイブリッド開催

◆申込方法：別掲の二次

元コードからお申し込み

下さい。

◆「報告書の作成」(宮田

哲郎日本医療安全調査機

構(医療事故調査・支援

センター) 常務理事

・事故調査の現場から

必要となります。

◆申込締切：12月16日

(火)

◆参加費：1000円

・シンポジウム②「在宅

療養の仕組みを支える医

師会の活動」(座長：鈴

木邦彦日本地域包括ケア

学会事務局/日本在宅

療養支援病院連絡協議会

講演(池端幸彦福岡県医
師会会長)

講演(川越正平松戸市医

師会会長)

講演(西田英一北九州市

八幡医師会会長)

講演(野津原昭熊本市医

師会在宅医療担当理事)

・総括(松田日本地域包

括ケア学会副理事長)

・閉会セレモニー

※本大会は日本医師会生

涯教育講座に認定されて

います。参加証を希望さ

れる方は「ZOOMウェ

ビナー」で当日視聴し、

学会終了後にお送りする

アンケートにお答え願

います。学会当日に視聴し

たログの確認をいたしま

す。ログの確認ができな

い場合は恐れ入ります

が、参加証の発行はでき

ませんのでご了承下さ

い。

◆問い合わせ先：日本地

域包括ケア学会運営事務

局(02955321

70)

被爆80年を思うこと

今年は広島と長崎に原
子爆弾が投下されちよう
ど80年の節目の年であ
り、広島では8月6日に
さまざまなイベントがあ
った。



最も印象に残ったの
は、恒例の平和記念式典
での湯崎英彦広島県知事
のあいさつである。「抑
止とはあくまで頭の中で
構成された概念または心
理、つまりフィクション
である」「もし核による

抑止が破られて核戦争に
なれば、人類も地球も再
生不能な惨禍に見舞われ
る」「抑止力から
核という要素を取
り除かなければなら
ない」「人類の、
地球の生と安全を勝ち取
ろう」と語った。

最後に「被爆で崩壊し
た瓦礫で身動きが取れな
い被爆者が暗闇の一筋の
光に向かって這い進み、生
を掴んだ」「諦めるな。

もう一つ、広島県、広
島市両医師会も、「ヒロ
シマ医師の被爆80年・あ
きらめない、やめない、
終わらない」という県民

押し続ける。進み続ける。
光が見えるだろう。核廃
絶という光に向かって這
っていき」と締めくくっ
た。

知性で語りかけたこの
素晴らしいメッ
セージが、核保
有国元首や自信
過剰な指導者に
も届いてもらいたいと願
う。

向きのイベントを8月3
日に開催し、被爆伝承コ
ーナーもリニューアルし
た。被爆者が高齢化し少
なくなる中、94歳の医師
で元広島大学学長の原田
康夫氏が自らの被爆体験
を若い聴衆にもしっかりと
と語り、感銘を与えた。

ただし、年齢的に被爆
伝承者は10年後にはほぼ
皆無となる。被爆を体験
した広島だからこそ、今
後も不屈の精神で世界に
平和と核廃絶を唱えてい
かなければならないと再
認識した。(グリーン)



勤務医のページ

大学病院・急性期病院勤務医師からみた
医師会活動の重要性地方独立行政法人新小山市市民病院理事長・病院長／
栃木県医師会常任理事／小山地区医師会理事
佐田尚宏

性期公立病院の理事長・病院長として運営に携わるとともに、栃木県医師会及び小山地区医師会において「勤務医の働き方改革・処遇改善」並びに「栃木県に医師（特に外科医）を増やす」ことを目標に活動している。

1. 勤務医から見た医師会活動の意義

医師会活動の重要性を認識した契機は、勤務医の働き方改革・処遇改善に取り組み中で、診療科単位や病院単位での改革には限界があると痛感したことである。

私は2000年に自治医科大学消化器・一般外科（現：消化器一般移植外科）に講師として着任し、2007年より教授職を拝命、2015年から2022年まで自治医科大学附属病院の病院長を務めた。

病院長在任中は自治医科大学医師会長として、また栃木県医師会理事を7年間務め、医師会活動の重要性を実感した。

2024年6月に栃木県医師会常任理事に選任して頂き、2025年3月の大学定年退職後は独立法化された300床の急

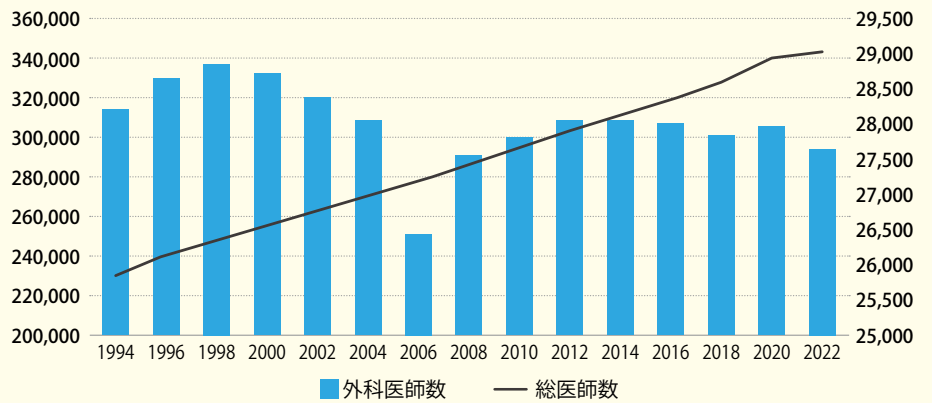


図 医師現況調査による総医師数（左軸）と外科医師数（右軸）の変遷（1994-2022年）

2000年の着任当時、24時間365日外科医たれ」という思想の下、外科医の過重労働が深刻であった。2004年の初期臨床研修制度導入により診療科間の比較が可能となった結果、外科、特に消化器外科志望者が急減した。

この状況を打開すべく、診療科として当直医数の削減、他科との共同当直、臓器別病棟受持制、個人外来を廃した臓器別外来制などを導入し、診療の効率化を図った。

病院長就任後も、新型コロナウイルス対策など多くの課題がある中、最も力を注いだのが勤務医の働き方改革である。

特に外科系医師の負担軽減は診療の持続可能性に直結すると考え、各科当直制を廃止し、診療科横断的なセンター当直制度を新設。更に裁量労働制や週4日・1日10時間の變形労働制の導入など、独自の取り組みにより医療の質を維持しつつ効率化を推進した。

自治医科大学附属病院は1132床を有し、47診療科を標榜する三次救命救急センターであり、とちぎ子ども医療センター、総合周産期母子医療センターを併設し、県内

2. 栃木県に医師を増やすために

もう一つの重要課題は、2040年を見据えた医師数の確保である。

宇都宮市や小山市など都市部ではクリニック数も多く、夜間・休日診療

勤務医のひろば
メリットとベネフィット石川県医師会理事・勤務医部部長／
国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学
保健管理センター長・教授 古川健治

もしあなたがドリルを売る場合、どうやってドリルを勧めるだろう？
あなたはドリルの特徴

を説明するかもしれない。でもよく考えて頂きたい。ドリルを買いに来た人が欲しいのはドリルではない、穴を開けたいからドリルを買いに来たのである。ドリルの説明がメリットに当たり、穴を開ける方法を考えるのがベネフィットである。同様のことを私達は日常的に経験している。医療機関に薬が欲しいと言って受診する方は、本当に薬が必要なのであるのか。実は薬は要らず、安心させてあげるだけでも良いかもしれないし、逆に、すぐに入院して治療が必要かもしれない。

つまり、受診者のメリットを考えると、薬を処方すれば良いだけであるが、ベネフィットを考えると、単に薬を処方するだけではいけないのである。

石川県医師会では、研修医支援のため、2016年より研修医合同オリエンテーション及びウェルカムパーティー、研修医支援ワーキング、2017年より研修医学会を行ってきた。

研修医の入会率は悪くないが、研修3年目からはさまざまな理由で退会することがあるので、まだまだ伝えきれていないのだらう。

今後とも医師会に入っていることのベネフィットを伝えていきたい。

参考：The Marketing Imagination, Theodore Levitt

と痛感した。

特に、夜間・休日の救急医療の効率化は、医師の過重労働解消に不可欠であり、医師会と県行政の役割は極めて大きい。

偏在指標では全国31位と下位に位置している。

国の医師偏在対策では、下位3分の1の都道府県が基準値に達することが求められており、その基準どおりに考えると医師数増加の施策を立案する必要がないのが現状で、栃木県としてこの課題に十分に対処していないと感じている。

従来の医局制度は大学医局の事情のみで人事が決定される弊害も指摘され、新臨床研修制度導入後に衰退した。しかし、代替として期待されている地域枠医師は、行政による配置が義務年限の若年期に限られ、十分に機能していない。

医師数増加を図るためには、医師会が主導し、大学病院と県行政が協力して、地域の実情に即した中堅・ベテラン医師が魅力を感じるキャリアパスを提示する新たな「医局機能」を構築し、地域への医師定着を図ることが重要と考えている。

従来、医師会はクリニックの先生方が主体であり、大学病院や急性期病院の関与は限定的であった。

大分県では大学・県行政・医師会が協働し、寄附講座の設置など斬新な取り組みによる医師確保が進められていると聞く。このような活動を栃木県でも展開することを目指すとともに、全国に広がることで日本の地域医療が活性化することを強く期待している。

～税優遇を活かして老後への備え～

国民年金基金

国民年金（老齢基礎年金）に上乗せする
終身を基本とする「公的な年金制度」です。ポイント
3つの
税制メリット

- 掛金全額が社会保険料控除の対象
- 受け取る年金は公的年金等控除が適用
- 遺族一時金は全額非課税

—不確実な将来に、今、備える—

ご加入条件

- 20歳以上60歳未満の国民年金第1号被保険者の方
 - 60歳以上65歳未満で国民年金に任意加入している方
- ※主に、個人立診療所の医師・従業員・ご家族などとなります。
- ※日本医師会年金（医師年金）に加入している方もご加入できます。



全国国民年金基金

日本医師・従業員支部

☎0120-700-650

HP上でも資料のご請求・
シミュレーション・加入申出
のお手続きができます！

医師支部 検索

日本医師・従業員支部は、「日本医師会」を設立母体とする日本医師・従業員国民年金基金が移行した医師・医療従事者のための職能型支部です。